

宮城県本吉町の事業概要

－ 光ファイバ網等を活用した各種行政サービスの提供 －

1. 事業概要

宮城県本吉町役場内に情報の発信の拠点となる情報センターを整備し、本吉町内の公共施設(役場、公民館、学校等)を光ファイバで接続した地域イントラネットを整備することにより、災害発生時の避難勧告や緊急地震速報などの防災情報を迅速かつ確実に伝え、住民の安否確認や避難、被災状況を把握するための環境整備を行うとともに、町内小中学校の学習環境の充実、地域内における情報交流機会の拡大を図るものである。

- ・ 整備期間 平成20年度
- ・ 事業費 総事業費約270百万円(補助金額約89百万円)
- ・ 主な伝送路 光ファイバ(自営)100Mbps
- ・ 接続箇所 99箇所(うち学校接続7箇所)

2. 主なアプリケーション

- (1) 防災情報システム
- (2) 行政情報提供システム
- (3) 学校間交流システム

3 電気通信事業者への芯線の開放

本事業ではブロードバンドの未提供地域を解消するため、電気通信事業者に事業実施後の開放を目的とした光ファイバを予め整備するものであり、地域内のブロードバンド・ゼロ地域を解消するとともに、住民サービスの向上を図るものである。

【本吉町地域イントラネット基盤施設整備事業のイメージ図】

